

足利風 -ashikaga-fu

2023
2月号
Vol.84



画：中山キッコ

足利市民活動センター

開館時間：平日 10:00~19:00

休館日：土・日・祝日・第3月曜日

〒326-0052

栃木県足利市相生町1-1

足利市生涯学習センター3F

TEL 0284 (44) 7311

FAX 0284 (44) 7312

Mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

HP QR コード



☆ ご案内 ☆

- * 特集！
「天に星 地に花 人に慈愛」
- * TOPICS
「コモンズという社会的
共通資本の回復を！」
- * 私のボランティアことはじめ
「伝統建築職人の
華ひらく街・足利へ！」
- * サークル紹介
「足利に歴史ミュージアムを」
- * INFORMATION

* 特集！ * 天に星 地に花 人に慈愛

「天に星 地に花 人に慈愛」という心震わす美しい言葉の江戸時代の掛け軸を、ある茶室で観た。まっ暗闇の夜空に瞬く星。荒れ野に一輪咲く可憐な花。そして殺伐



とした人の世に灯された慈愛の志。ボランティアの志の源は、この慈愛にこそ在る。民芸の柳 宗悦（やなぎ・むねよし）は「茶道論集」で、茶の本質を“わび”“さび”といった知者の用語ではなく“渋さ”という民衆の言葉で語る。その心根は「貪（どん）のころも」にあると言う。そしてその“貪”を茶器の「簡素な形、静な膚、くすめる色、飾りなき姿」に観る。「貪の心のない所にこそ貪がある」と。そして「足らざるに足るを感じるのが茶境なのである」という。「足るを知る」というより「足らざるに足るを感じる」。「足るを知る」という風に自分を困うのでなく「無限なるもの」に

向かって自分をひらくために「足らざる」場所に自分を置く・・・「貪（むさぼ）り」の地平においてではなく。

柳 宗悦は、素朴な民芸の中に“他力の美”を見出した。芸術家の作品には美しい物を作ろうとする“はからい”が投影されている。一方、実用性を重んじる民芸には美への“はからい”がない。しかし手仕事の日用品には“用の美”が存在する。美しい物を作ろうという“はからい”を超えたところに、人間の意志や意図を超えた“他力の美”が宿る。それが民芸運動の思想である。

いま、ポスト・コロナの価値観が私たちには求められている。地球環境を破壊しつつ来てきたグローバル資本主義を見直し、グリーン・インフラに力を注がなければならない。人間のエゴイズムという“貪り”や“はからい”の地平ではなく・・・

(M生)

* TOPICS * コモンズという社会的共通資本の回復を！

11月17日のNPO講座「コモンズの思想と地域づくり」は近頃稀に見る画期的なサロンとなった。“コモン”とは“コミュニティ”の語源であり“コモンズ”という空間を失った社会では共同体が消えてゆく。“コモン”つまり水や土壌などの自然環境や電力・交通網等の社会インフラを市民が共同管理し循環型の定常型経済をめざす。経済至上主義を超えて宇沢弘文さんの言う“人間の顔”をした“誰ひとりも取り残さない”幸せな地域づくりを願っている。



* 私のボランティアことはじめ *

伝統建築職人の華ひらく街・足利へ！

飯島 秀雄

歴史ある街・足利には築百年以上の建物が多く存在しており、今、廃屋や改修が必要な状況にあります。今日、伝統建築に携わる職人さんは生業として個々の企業に属しています。このままだと、足利の財産として大切な建物も消滅し、それに携わる職人も途絶えてしまいます。継承が喫緊の課題となっております。伝統建築を一括して資料も含めて管理・調査・施工する協会が必要と思います。このことは足利にとって後世への大切な財産となります。この協会は、伝統建築に関わる職人たちの育成や技術研修の場となります。と、同時に足利から両毛地区・栃木県・関東地方へと貴重な人材の輸出産業の核ともなります。



これからの足利は、有形の財産（足利学校・鏝阿寺・織姫神社・あしかがフラワーパーク等々）から、無形の財産（市民の技の継承と若者への伝承）のパワーが若者たちの力が躍動する、歴史と文化の街・足利として発信できなければなりません。現状の市民の理解度の低さを超えて、産官学民の理解と協力で、市民の身近な文化財と継承に関心が深まることによって、足利の未来に一筋の明るい松明が灯るのではないかと願う今日この頃です。

* サークル紹介 *

足利に歴史ミュージアムを

観光客がまず驚くのは足利に歴史博物館や宝物殿がないことです。縄文前期から後期、弥生時代・古墳時代に至る歴史の黎明期の遺跡・古墳群が市内の各所に見られます。鎌倉幕府の礎を作り支え、室町幕府初代征夷大將軍尊氏公を筆頭に歴史の舞台に足利の二文字を刻印した源姓足利氏。また、藤姓足利氏や長尾氏は足利に文化と武勇の彩りを加えました。

足利市政 100 周年を契機として足利氏に歴史ミュージアム設立・運営することが現代足利市民の使命と考えます。



足利歴史ミュージアム設立推進協議会 清水弘一

Mail : koichi2237@gmail.com

* INFORMATION *

※コロナ感染対策により内容が変更・中止になる場合があります。）

☆「まちの縁側」～読書サロンへのご招待～

だれにでも心に残る一冊の本があります。童話・小説・詩集・・・等々。
その一冊の本を導きの糸として、案内人を囲んで、参加者のみなさんと一緒に、
ワイワイガヤガヤ・・・と。新しい人との出会いや物語を紡いでみませんか。

★令和5年 2月17日(金) 14:00～16:00

*本:「哀しみの秘儀」(若松英輔)

*案内人: 石川 博右さん

*ひとこと: “歌人・俵万智さんが解説を書いている～もしあなたが今、このうえなく大切な何かを失って、暗闇の中にいるとしたら、・・・あるいは、目の前のことに追われすぎて、ささいなことでイラついたり、何が大事かということさえ考える余裕がなかったりするなら・・・この本をおすすめしたい! 全編心に沁みる宝石のような言葉が詰まった本です。一緒に心豊かなひとときを過ごしませんか!”

★令和5年 3月18日(土) 13:00～15:00

*本:「人新世の資本論」(斎藤幸平)

*案内人: 鈴木 光尚さん

*ひとこと: “お待ちせしました! 「持続可能性」が時代のキーワードとなっている現在、話題沸騰の書の登場です! 人間が産業革命以降構築した経済システムにより、地球環境への負荷が限界に達しようとしています。筆者は「脱成長」論を推進することで、人々の意識改革を誘いながらコモンズの復権など、新しい豊かな人間社会構築への提言をしています。誰ひとり取り残さない「人の世の幸い」をみなさんと一緒に考えてみませんか!”

■参加費: 無料

■会場/問い合わせ: 足利市民活動センター ☎44-7311

☆企画展 (交流コーナー)

- * 1月30日(月)～ 2月 9日(木) 子どものえがお展
 - * 2月13日(月)～ 2月22日(水) まんま&絵本庵展
 - * 2月27日(月)～ 3月 9日(木) 東日本大震災12周年展
 - * 3月13日(月)～ 3月23日(木) 足利のSDGs展
- ※展示時間・・・10:00～19:00 ただし最終日は15:00まで
(2/20・3/20・土・日・祝日・第3月曜日は休館日)

☆相談室&講座

*相談室 = 毎月第2・第4水曜 14:00～16:00

*講座 = 毎月1回

※詳しくは、別紙参照

編集後記

「神様は凡人を愛しておられるに違いない。だから神様は凡人をたくさん造っておられるんだ」これは16代大統領リンカーンの有名な言葉だ。“雨ニモマケズ”の宮澤賢治の礎は、誰と出会っても「私は決してあなたを軽んずることはありません」と言って礼拝する“常不軽菩薩”だ。心すべきは、人は誰でもみな“菩薩”に生まれているに違いないということだ。
(カサブランカ)